



ながはた
長畑ひろのり News

発行：2011.01.01
- 市政報告 01 月号 -
vol.041

ご意見は次の e メールアドレスへ sky@nagahata.jp phone : 072-878-3205
公式HP & ブログは次の URL へ http://nagahata.jp fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

新年明けましておめでとうございます。今年も長畑ひろのり、精一杯市政のために働く決意でございますので、どうか今までと変わらないご指導ご鞭撻を宜しく願います。

「議員定数削減」について

私が議員だった時、四條畷市議会議員の定数削減を考えるべく議員間で話しをしたことがあります。私の所属する会派は2名の削減案を提示しましたが、その件はそれ以上の進展をみることはありませんでした。結局、議会として議論にあがることもなく、議員定数削減の話は無くなりました。

藤井寺、大阪狭山の両市
議会で21日、議員定数削減
案が、それぞれ賛成多数で
可決された。ともに来年4
月の統一地方選から適用さ
れる。

**藤井寺市議会定数16に
大阪狭山は1削減の15**

藤井寺市議会は現行の定
数18から2の削減となる。
平成14年に定数を2減らし
て18としたが、人口や面
積、近隣市の状況と比べ
ると、さらに2減が相当と
した。今回の削減で、年間約
1900万円の歳出が抑制
されるという。

大阪狭山市議会は定数16
から1の削減。前回の統一
地方選のときに2減らした
が、議会改革に向けて今
回、さらに1削減を求める
声が多数を占めた。年間の
財政効果額は約890万
円。

↓産経新聞より
市民の声を議員が行政に反映するとの考え方からしますと、議員の定数は少しでも多い方が良いのは間違いありません。しかし、財政健全化を最重要課題として取組む、また、他市に比べて歳入の少ない本市にとって議員定数削減の効果は特に大きく、各議員の負担は増えますが、やむなしと考えます。

実際、昨年夏の市長選挙後9月からは、議員定数16名のところ2名減の14名で議

会は4月末まで動きます。これを前例とし、統一選挙後の新しい議会で議員定数削減に取り組むべきと考えます。

他市では、議員定数削減に前向きなところも多く、特に寝屋川市の4名削減は、議会としての市政に対する姿勢が現れていると思います。本市も見習いたいものです。

右上に、現在の議員定数と、この春行われる統一地方選挙後からの各市議会の人数を表に示します。

市名	人口(昨年末)	議員定数	削減数	改選後の定数
四條畷市	57,568人	16名	0名	16名
寝屋川市	242,579人	32名	4名	28名
大東市	127,445人	17名	0名	17名
交野市	79,115人	17名	(2名)	(15名)
枚方市	407,098人	34名	0名	34名
門真市	130,435人	22名	0名	22名
守口市	148,060人	22名	0名	22名
藤井寺市	66,829人	18名	2名	16名
大阪狭山市	57,908人	16名	1名	15名

※ 交野市議会は統一選挙より半年ずれて9月に選挙が行われます。定数削減については議員の過半数を超える人数で上程中です。

以上、表を見ていただければ本市の人口比に対する議員の数は他市と比べて多いのはご理解いただけるでしょう。せめて人口が同規模である大阪狭山市の15名とするか、他市との人口比だけを考えれば、もう数名減らしてもと考えます。私は、中学校区を基本と考え、各中学校区に3名ずつ、全部で4中学校区ありますので計12名に、中学校区の人口バランスを考慮し合計13~4名程度の議員数が良いと考えます。

「砂地区イオンモール」について

先月号でお伝えしました通り、イオンモールより地権者へ向けての説明会が12月17日に行われました。私も事前にイオンモールに参加許可を願いましたが、地権者のみと言うことで断られました。その後、知り得た情報を記します。

会場はサン・アリーナの多目的室で参加者数は約60名。午後7時より8時15分まで開かれました。内容は2003年に第一回の説明会を開いてから今日まで長い間かかったことへのお詫び。また、土地の契約は60%終了し30%の同意を得たことから9割の土地確保の見通しがついたこと。規模は大和郡山店と同規模(大日のイオンと遜色ないと思います)。そして、今後の予定が明らかになりました。

平成23年：当初より測量調査、夏頃より埋蔵文化財調査
平成23, 24年：行政許認可手続き
平成25, 26年：造成工事と建設工事
平成25年後半~26年前半：イオンモール開業

「交野市に建設予定の新炉」について

前号でダイオキシン類等が検出されたことを報告しました。内容は、土壌調査をした79地点のうち73地点は問題がなく、残りの6地点においては土壌基準を超過していたが、第2溶出量基準は越えていない・・・等々で、詳細につきましては、前号を読んで下さい。

その後ですが、土地所有者である四條畷市交野市の土地開発公社は、大阪府知事に区域の指定を申請しなければならずその申請を1月当初に行います。そして、その結果として、1月中旬に区域指定が決まる予定となっています。

その区域指定ですが、地下水汚染が拡大するおそれがある、当該土地に関係者以外の者が入ることが出来る状態の場合、《要措置区域の指定》とされ、形質変更原則禁止となり、汚染の除去等の措置を大阪府知事より指示されることとなります。この区域指定をされますと、1月当初より1年かけて行う環境影響評価のための現況調査は中止となり、工事も大幅に遅れ、相当な費用も発生することになります。

しかし、先の条件をクリアーしていると大阪府が認めた場合は《形質変更時要届出区域と指定》され、法に基づく汚染等の除去等の対策は不要となります。つまり、新焼却炉の建設にあたっての造成工事と同時に処置を行うだけで済み、工期の延長も、大幅に予算も上がることはないと思えます。

ちなみに「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価」における現状調査の内容についてですが、調査期間は平成23年1月1日より12月31日の1年間とし、以下の項目を調査します。

大気質	[一般環境・沿道環境]
気象	[地上・高層・上層・拡散実験・風洞実験]
水質底質	[河川水質(平水時・降雨時)・底質]
地下水	[地下水]
騒音等	[一般環境・道路交通]
悪臭	[一般環境]
土壌	[土壌汚染]
電波障害	[電波障害]
陸域生態系	[陸生動物・陸生植物・淡水生物]
人と自然との触れ合い活動の場	[活動の場の利用状況]
景観	[眺望状況]

以上は、大項目と環境項目ですが、この中に調査項目が多岐にわたってあげられています。たとえば、大気質の一般環境の調査項目は(二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、塩化水素、水銀、ダイオキシン類、窒素酸化物)と言うようにです。調査に一年かかるのも理解できます。

自由な発想シリーズ ②

「忍駅前ロータリー改造計画(案)」について

前号から始まった、議員でない一市民としての事業費も考えない自由な意見を書かせて頂きます。

1996年(平成8年)に忍ヶ丘駅前東広場が完成し、美しい街並みに喜んで市民も多いでしょう。私もそのうちの一人です。しかし、寝屋川方面への車でのアクセスが悪くなったのも事実。以前は、サカエの前を通る道へすぐに出れたのです。再開発時にもう少し車の流れを考えて頂きたかったと思います。さて、書きたいのはそのことではなく、ロータリーがもう少しどうにか出来ないかと思うのです。

駅前にはロータリーが線路を挟むように東西に2つあります。

東側ロータリーの中心部にはバスがとまれるサイズのスペースと中心をずれた南側には噴水があります。この噴水、どれだけの方が眺められているでしょうか。駅から降りてすぐ見えないのも欠点かも知れません。

西側ロータリーにいたっては、



コンセプトすら理解できません。空いたスペースに時計台をつけた程度のものでしょうか。



そこで、私からの提案ですが、2つロータリーがあるのですから現在と過去にわけて考えたいと思うのです。

一つは、歴史的なもの・・・本市で出土した馬形埴輪(四條畷市指定有形文化財)の特大サイズを作り設置すれば、本市の歴史に市民も訪れる方も興味を持ってくれるはずですよ。

もう一つは、現在のもの・・・アート系では、本市在住の絵本作家谷口智則さんの作品から選んで立てるのもいいでしょう。「大きなサンタと小さなサンタ」これにクリスマスの時期ならイルミネーションを組み合わせれば、大人も子どもも楽しめると思います。



何を立てるにしても、忍ヶ丘駅を利用される方が、ロータリーのモニュメントをバックに記念撮影されるようなものが出来ればと思います。